

北信越ブロック クラブネットワーク アクション2021



運動部活動の情報提供 「融合型部活動」の取組

NPO法人希楽々

理事長 渡邊 優子

部活動等の軌跡



	H17～H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
NPO法人希楽々	サークル	バス取得	地域課題解決への取組								
希楽々サークル活動	サークル										
新しいカタチの部活動		合意形成									
	新しいカタチの部活動始動			JGBC			休部	課題			
					JFC	休部					
新潟県協働展開事業受託					多種目・エリア拡大						
第2次村上市教育基本計画策定委員会		協働・融合提案				部活動検討		スポーツ庁ガイドライン			
スポーツ庁ガイドライン作成委員会							ガイドライン				
新潟県部活動在り方検討委員会							方針				
村上市部活動在り方検討委員会						方針		低年期の楽しいスポーツ			
スポーツ庁「部活動改革プラン」受託		部活動改革プラン						村上市	希楽々	希楽々	
小学生バスケットボール								放課後アフタースクール			
融合型部活動							融合型部活動の実働			①Hangout	
										②KSTC	
										③神林BC	
「地域部活動推進事業」受託									地域移行		地域移行

新しいカタチの部活動【H24～27】



- ①部活動にない種目 女子バスケットボール「J・G・B・C」
- ②学校・保護者・希楽々で合意形成 **【部活動に準ずる活動】**
- ③クラブ管理下・放課後バスで迎え・週4日・中学校3校17名
- ④財源・・・受益者とクラブで負担
- ⑤中体連大会参加
- ⑥クラブ事業のボランティア参加・多世代交流による社会性の向上・自主性



準ずる活動の課題【H29】



①部活動ではないものを選ばない子どもたち

「どうしてもしたいものがないの？」

②大会への出場制限

「中体連大会に出場できないの？」

③保護者の不安 「地域クラブの活動の評価は？」

④スポーツを選択しない

「低年期に楽しいスポーツを体験してきていないの？」

⑤広報活動の制限 「既存部活動への影響」

部活動の在り方に関する 総合的なガイドライン作成検討委員会



「ガイドライン」に提案【H29】



- ①委員構成： 19名 ※総合型クラブ代表
- ②趣旨：運動部活動の運営の適正化に向けて
- ③「持続可能な運動部活動」を見据えた多様なニーズに応じた部活動運営の在り方に注力
- ④多様な意見
学校と地域の「融合型」という第3のプランの提案
総合型クラブの「コーディネーター」という役割
- ⑤「学校と地域が協働・融合した形」の明文化

村上市への仕掛け【H28】



①「第2次村上市教育基本計画」に提案

中学校部活動について運営方法等を学校と地域が合
同で検討する機会の創出

②「村上市部活動在り方検討委員会」の設置

③ガイドライン、県方針の報告及び「融合型」提案

④具体的な融合型プランの提案

⑤市方針にも「総合型クラブ等と協働・融合した形」と明文化

仕掛編 【H30】



◎スポーツ庁「部活動改革プラン」の公募

村上市に応募依頼 → 採択 → 希楽々（再委託）

◎実施内容

- ①「学校と地域の融合型についての検討会議」の設置
- ②中学校との意見交換（合意形成）
- ③静岡市教育委員会視察（校長・行政・希楽々）
- ④次年度（新中学校）への引継

1年目の成果



- ①新「神林中学校」モデル事業の実施
- ②「融合型部活動運営協議会」の設置
- ③コーディネーターの配置
- ④指導体制の整備



実践編 【令和元年度】



◎スポーツ庁「部活動改革プラン」の公募

希楽々で申請  採択

◎実施内容

- ①「神林中学校区地域との融合型部活動運営協議会」設置
- ②実態調査及び意向調査の実施
- ③コーディネーターの配置
- ④多様なスポーツの啓発
- ⑤指導者意識改革講演会及びスキルアップ研修会の開催
- ⑥指導者研修プログラムの作成

2年目の成果（1）



◎活動の明確化と見守り体制の整備

① 学校部活動

バスケットボール
バレーボール
卓球
野球

② 地域の活動

スポーツ少年団
体育協会
希楽々

③ 融合型部活動

Hangout（バスケットボール）
KSTC（ソフトテニス）

☛学校が関与する地域の活動

融合型部活動運営協議会

2年目の成果（2）



①【融合型部活動】の実践

バスケットボール空間「Hangout」始動

ソフトテニス空間「KSTC」始動開始予定（R2.4～）

②指導者研修機会の創出

指導者プログラム作成及び試行研修の実施

③制度設計への取組の要請

市長・教育長と意見交換

「指導者ライセンス付与制度」の説明、次年度取組開始確約

④多様なスポーツの啓発

拡大編 【令和2年度】



◎スポーツ庁「部活動改革プラン」希楽々で申請 ☐ 採択

◎実施内容

- ①「神林中学校区融合型部活動運営協議会」継続
- ②「指導者プログラム」の実践
- ③「融合型部活動」の実践及び啓発
- ④指導者ライセンス付与制度を考えるプロジェクトの設置
- ⑤コーディネーターの配置
- ⑥多様なスポーツの啓発
- ⑦村上市における「融合型部活動」の促進

3年目の成果(1)



◎融合型部活動の実践と啓発

- ① 2種目（バスケット、ソフトテニス）の体制強化
- ② 新種目（野球）の始動へ

バスケットボール空間「Hangout」	令和元年度始動
ソフトテニス空間「KSTC」	令和2年度始動
軟式野球空間「神林BC」	令和3年度始動

3年目の成果(2)



- ①融合型部活動の体制整備
- ②休日の学校部活動を融合型部活動へ移行
- ③大会等の開催に伴う対応策
- ④他地区の受入 融合型部活動の拠点化

バスケットボール部	令和3年度より移行
野球部	

3年目の成果(3)



①運営母体の明確化

総合型クラブ検討会

②指導者の資質向上に向けた取組

研修会の受講義務化

認定指導者の登録



③全市における「融合型」の啓発

中学校校長会、市教育総合会議、地区別意見交換会

進化編 【令和3年度】



◎スポーツ庁「地域部活動推進事業」県→市→希楽々

◎実施内容

- ①「神林中学校区融合型部活動運営協議会」継続
- ②「指導者プログラム」に基づく資質向上事業
- ③認定指導者の制度化の検討
- ④「融合型部活動」の実践及び整備
- ⑤他種目の融合型化
- ⑥学校や地区を超えたエリアマネジメント
- ⑦財源の検討

第1回融合型部活動運営協議会



- ① 国の部活動改革概要説明
- ② 新潟県の実施説明
- ③ 今年度のスケジュール
- ④ 融合型部活動の
実践と課題
- ⑤ 今年度の目標



指導者育成プログラム研修会



- ①新潟医療福祉大学との連携
- ②融合型部活動指導者には受講の義務化
- ③村上市中学校、スポーツ団体に案内
- ④受講登録票

回	開催日	時 間	資 格	科目名	内 容	
1	8月3日（火）	19:00 ～20:30	コーチ1初級編	地域スポーツ論	地域スポーツ指導者の役割	10
2	9月21日（火）			スポーツ教育指導法Ⅰ	スポーツ種目特性	12
3	9月28日（火）		コーチ2中級編	コーチングⅠ	スポーツ指導者の心構え	16
4	10月5日（火）			スポーツ教育指導法Ⅱ	指導計画・内容・評価の立て方	14
5	10月12日（火）		ブロンズ 認定指導者	コーチングⅡ	プレーヤーとの望ましい関係性	18
6	10月19日（火）			スポーツ心理学Ⅰ	スポーツにおける動機付け	14

第1回指導者育成プログラム研修会



- ① コーチディベロッパー 西原康行氏
- ② コーチ1 初級編 「地域スポーツ指導者の役割」
- ③ 融合型部活動指導者、スポ少指導者、教員、希楽々
- ④ 受身ではなく、自分で考える研修

多様なスポーツ空間を選択できる



スポーツ庁令和3年度「地域運動振興推進事業」

**中学生には
多様なスポーツ空間が
あるよ！**

神林中学校部活動

- ・スローガンは「応援される集団になろう！」
- ・プレーは一流、マナーは超一流～
- ・興味あるスポーツで技術と体力、礼儀やマナーを身に付けたい
- ・集団活動で、仲間をつくって絆を深めたい！

神林地区スポーツ少年団

- ・一緒に楽しくスポーツがしたい！
- ・礼儀を身に付けたい！
- ・体力を付けたい！

神林地区体育協会

- ・専門的にやってみたい！
- ・上手になりたい！
- ・大人に交ざってやってみたい！
- ・熟練の技を習得したい！

NPO法人希楽々

- ・楽しくスポーツをしたい！
- ・色々なスポーツをしたい！
- ・新しい種目に挑戦したい！
- ・色々な人と交流を図りたい！

融合型部活動

- ・初心者でも大丈夫！
- ・楽しみたい！上手になりたい！どちらも大丈夫！
- ・引退後の3年生も大丈夫！

お問合せ

NPO法人希楽々

〒959-3423 新潟県上野市九日市 501 番地 神林総合体育館
TEL 0254-66-8119・FAX 0254-66-8112
火・土曜日 9:00～17:30 月・水・金曜日 9:00～21:00 祝・日曜日は休
メール kirara.kamihayashi@yahoo.co.jp
ホームページ <http://www.kirara-kamihayashi.jp/>

神林中学校部活動		
野球	平日3日(火・木・金曜日)	平日 16:00～18:00 ※大会開催時
バスケットボール(男子)	平日3日(月・火・金曜日)	平日 16:00～18:00
バレーボール(女子)	平日4日 主・日曜日は1日	平日 16:00～18:00 休日 8:30～11:30
卓球	平日4日 主・日曜日は1日	平日 16:00～18:00 休日 8:30～11:30

神林地区スポーツ少年団		
野球	神林多目的グラウンド ※雨天時・冬期間 神林総合体育館アリーナ	火曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00
バレーボール	神林小学校体育館 神林総合体育館アリーナ	火曜日 19:00～21:00 木曜日 19:00～21:00
ミニバスケットボール	神林小学校体育館	木曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～16:00
ソフトテニス	神林体育館 神林総合体育館アリーナ	木曜日 19:00～21:00 土曜日 13:00～16:00
卓球	神林総合体育館アリーナ	土曜日 19:00～21:00 ※年初めの場合 9:00～12:00
剣道	神林総合体育館剣道場	水曜日 19:00～21:00
柔道	神林総合体育館柔道場	火曜日 19:30～21:00 木曜日 19:30～21:00

神林地区体育協会		
神林柔道倶楽部	神林総合体育館柔道場	火曜日 19:30～21:00
神林バドミントンクラブ	神林総合体育館アリーナ	木曜日 19:30～21:00 火曜日 19:00～21:00

NPO 法人希楽々		
中学生バレーボールの部	神林総合体育館アリーナ	水曜日 19:30～21:00
硬式テニス教室	神林総合体育館アリーナ	木曜日 19:00～20:30
卓球教室・卓球公開	神林総合体育館アリーナ	金曜日 19:15～20:45
バドミントン教室	神林総合体育館アリーナ	金曜日 19:15～20:45
合気道道場クラブ	神林総合体育館柔道場	月曜日 19:30～21:00
村上合気会	神林総合体育館柔道場	水曜日 19:00～21:00
かみはやしスボレック協会	神林総合体育館アリーナ	金曜日 19:00～21:00 火曜日 19:30～21:00

融合型部活動		
バスケットボール空間 Hangout	神林総合体育館アリーナ 神林中学校アリーナ	水曜日 19:00～21:00 土曜日 13:30～16:00
ソフトテニス空間 KSTC	神林総合体育館アリーナ 神林中学校テニスコート ※雨天時 神林中学校アリーナ ※冬期間 神林総合体育館	月曜日 19:00～21:00 火曜日 16:30～18:00
軟式野球 神林 BC	神林小学校 神林多目的グラウンド(不定期) 神林中学校グラウンド ※雨天時・冬期間 神林体育館	月曜日 19:00～21:00 金曜日 19:00～21:00 土曜日 9:00～12:00

- ①中学生 1 ～ 3 年生
へ配布
- ②引退後の 3 年生も
- ③地域で中学生が参加
できる空間
- ④融合型部活動 3 種目

校内合同部活動



- ①毎週火曜日 ※冬期 1 時間
- ②全部活動が参加 ※吹奏楽
- ③希楽々職員指導
- ④コーディネーション、体作り
- ⑤教員の多忙化解消

令和3年度は自主財源で実施



構想と課題



①市内各中学校区に「融合型部活動運営協議会」の設置
市内間の情報共有及び連携 → 融合型部活動の拠点化

②制度設計・・・指導者ライセンス付与制度
コーディネーター制度、兼職兼業

③運営母体 → 総合型クラブ

④地域 → 地域の活動と融合型部活動の明確化

⑤制度設計に伴う財源の確保

⑥指導者の資質向上の取組（県共通研修会の開催）

- ◎行政の主導力
部活動担当
- ◎方向性の明確化
国・県・市町村の役割
- ◎地域部活動の推進
- ◎総合型クラブの活用

来年度の提案



- ①市全体のコーディネーターの配置
各クラブにはサブコーディネーターの配置
- ②各地区での運営協議会を設置するが
全地区での【種目別ワークショップ】の開催
1 地区・1 学校からエリア拡大へ
- ③各地区での「融合型部活動」の試行
- ④「融合型部活動」の拠点化
- ⑤上記の伴う財源の確保

38万円の投資と想い



- ①引退した3年生の場(7校 男女 名)
- ②コロナ禍での大会機会の減少
- ③クラブ選手権という目標
- ④必要なユニフォーム
- ⑤学校・保護者もできないことをやる！



NPO法人希楽々 融合型部活動

バスケットボール空間 HANGOUT

NPO法人希楽々

サブマネジャー 島田 英宏



HANGOUT (ハングアウト)

■意味 . . . たまりば。バスケ好きが集まる場。

ミニバススポーツ少年団指導者が命名

■目的 . . . ①神林中学校バスケ部の活動連携

②他中学校バスケ部スキルアップの場

③引退後3年生の活動の場

■活動 . . . 毎週水曜日19：00～21：00 毎週土曜日13：30～16：00

参加者 ミニバス5.6年生、神林中を中心に1～3年生 約35名

月謝1,000円※中学生のみ

■指導者 . . . スポーツ少年団指導者、融合型部活動指導者、中学校顧問等

発足から現在まで

- 2019年夏くらい スポ少ミニバスから中学校クラブチーム化構想
※当初はミニバスだけでやろうと→中学校指導者と対立
- 2020年1月～3月 希楽々主導 融合型部活動としてプレ事業
- 2020年4月 本格始動 毎週水曜日・土曜日月2回
- 2021年4月 地域移行連携開始 （部活週3 Hangout週2）
- 2021年6月 引退後3年生の活動開始 関わる人増

HANGOUT 関係図①

関係団体 2020.1.5 NPO法人希楽々作成

- ・神林中 岩船中学生
- ・神林スポ少ミニバス
- ・NPO法人希楽々
- ・融合型部活動運営協議会

融合型部活動運営協議会

- 役割
- ・推奨
 - ・情報共有、検討の場

推奨

希楽々事業

Hangout

- 役割
- ・募集、周知業務
 - ・受付 参加者取りまとめ
 - ・会計管理

謝金

指導・参加

情報共有

参加

神林、岩船中学生

- 役割
- ・参加(義務ではない)
 - ・初心者や女子も参加可

神林スポ少ミニバス

- 役割
- ・指導
 - ・参加(5・6年生)

活動イメージ

水曜19:00~21:00 スポ少活動内で実施

Hangout 活動

スポ少活動

将来構想

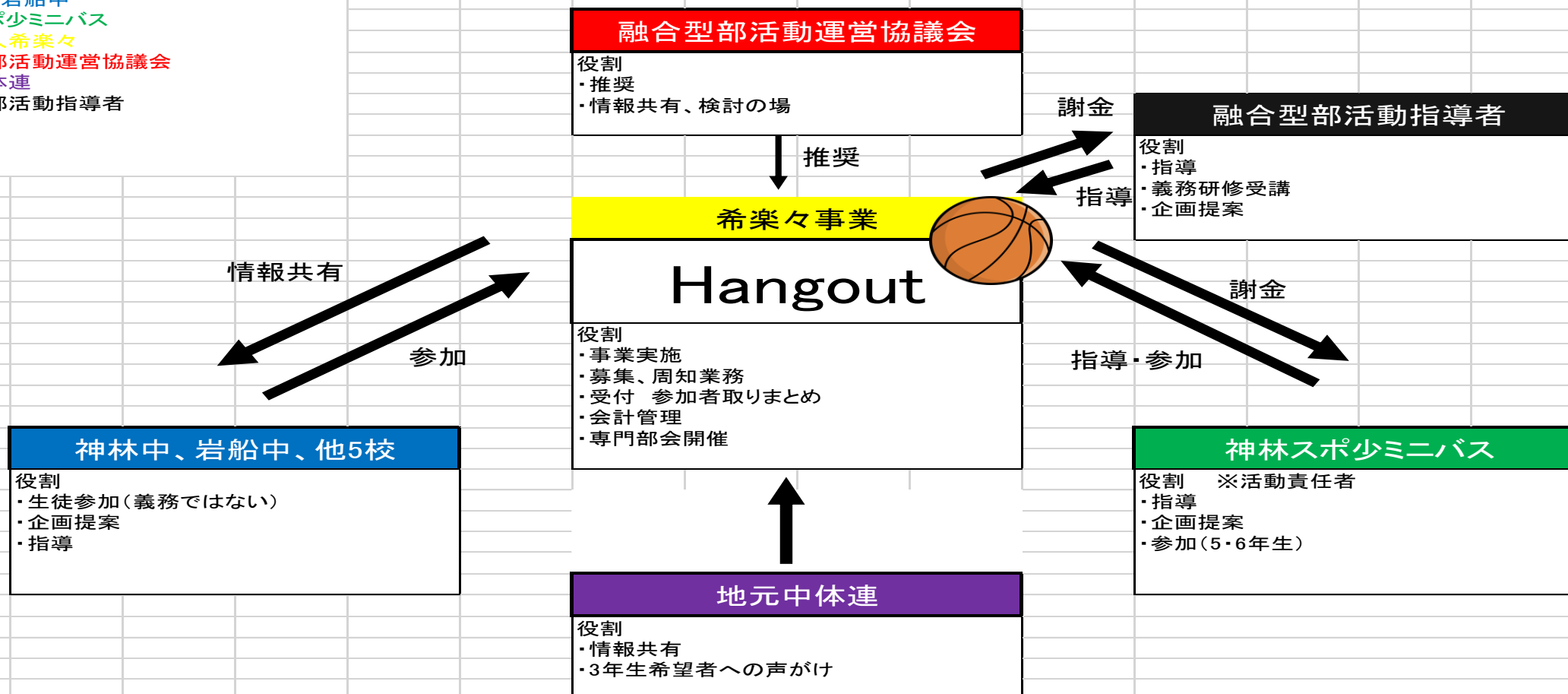
- ・ベーシッククラス(初心者)とレベルアップクラスの作成
- ・クラブチーム化
- ・練習日増
- ・女子の参加
- ・他地区の参加
- ・中学部活動の代わりに

HANGOUT 関係図②

Hangout(ハングアウト) 概要・関係図

2021.9.14 NPO法人希楽々作成

関係団体
・神林中 岩船中
・神林スポ少ミニバス
・NPO法人希楽々
・融合型部活動運営協議会
・地元中体連
・融合型部活動指導者



R3年度神林中学校バスケットボール部とHANGOUTについて

神林中学校バスケットボール部スケジュール							
曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動内容	部活動	部活動	Hangout(夜)	休み	部活動	Hangout (PM)	休み※Hangout
参加校	神林中学校	神林中学校	神林中学校(選択)		神林中学校	神林中学校(選択)	
			岩船中学校			岩船中学校	
			神林スポ少			神林スポ少	
			郡市中学校3年(男女)			郡市中学校3年(男女)	

バスケットボール専門部

■専門部員

・ ・ ・ 希楽々担当1名、スポ少指導者3名、
神林中顧問1名、岩船中部活動指導員1名

①定期的な専門部会

②常に情報共有

③次の展開検討

■その他関係者 ・ ・ ・ 指導者3名、中体連教員1名

①指導

②参加希望者声かけ

バスケットボール専門部

神林中 誰教えるの?

部員 8名

楠田さん R3年3月11日引退
1/24(日)に子供に伝えた。
→ 保子君の反応... 受け入れた。

岩中

スガウ [岩・中・神中]
新チームに切りかわり

土日の降の問題
保子君もX 平日練習に専門部の指導者もOK
大会練習試合 → 学校部活? クラウドチーム?
先生は土日は地域の指導者に
保険は地域でかける
平日の活動は地域では限界が

指導者

佐藤 (スガウ)
河内 (スガウ)
工藤 (スガウ)
本間 島田
△加賀 鈴木

参加費
1000円 ~ 2000円

	月	火	水	木	金	土	日
部活	部活			部活	部活	AM	
夜			Hangout			PM Hangout	(Hangout)



課題と解決方法

課題

■強制参加ではない事による2極化 → 保護者会で丁寧な説明

■中体連とクラブチーム

→ 現状は臨機応変に。今後は大会の在り方自体の検討

■指導謝金は？受益者負担？

→ 村上市の制度確立、かつ受益者負担の理解

学校と地域が融合する為のポイント

①総合型地域スポーツクラブが母体（必須）

→仕事だからできる事。信頼できる団体だから。お金の管理。

②学校との信頼関係の構築

→部活動に関わらず、日常的に関わる事が重要。（学校行事、施設利用、総合学習など）

③協力者を増やす ※こまめな連絡が必要

→スポ少、顧問、指導者、中体連、行政など

情報の収集と発信、課題の発見と解決、新たなアイデア

この活動に取り組む最大の理由

子どもたちがスポーツをする場を維持し、

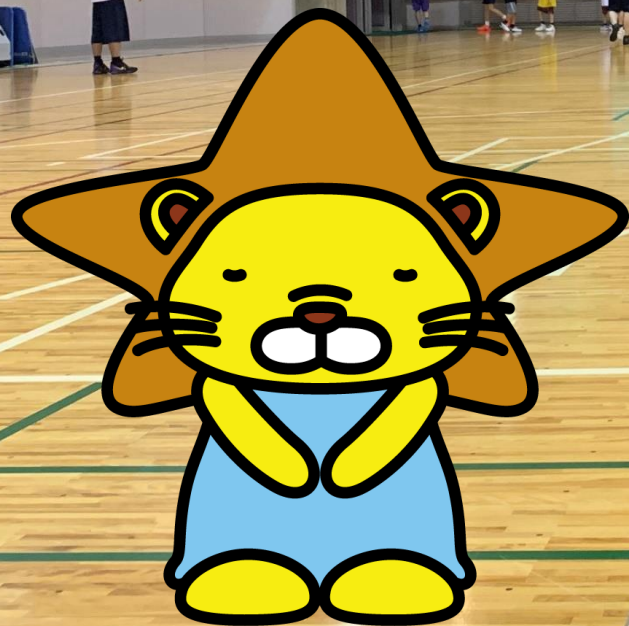
大人になってもスポーツを続けてもらいたい。

たくさんの大人が協力し、

出来ない、やらないという選択を少しでも**無くす**為。

スポーツは楽しいと思える子どもを増やす為。

ご清聴ありがとうございました





お疲れ様でした